

2017年度
区議会定例会

開会会議で337日間の会期・各常任委員会などの役職を決定…

日本共産党荒川区区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

No. 658

2017年6月 4日
発行 日本共産党区議団
TEL3802-4627
fax3806-9246
Eメール arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
★町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
TEL3895-0504
Eメール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

総務企画	福祉区民	文教子育て	建設環境	議会運営
△ 小林行男	△ 横山幸次	○ 斉藤邦子	◎ 安部キヨ子 △ 小島和男	小林行男 △ 横山幸次
菅谷元昭 ◎ 明戸真由美 △ 志村博司	○ 中島義夫 服部敏夫 △ 北城貞治 鳥飼秀夫	小坂眞三 △ 並木一元 ◎ 若林清子	町田 高 ○ 茂木 弘 △ 斉藤泰紀	中島義夫 菅谷元昭 △ 明戸真弓美 ◎ 小坂眞三 志村博司
○ 松田智子 △ 中村尚郎	◎ 田詠子 △ 保坂正仁	△ 森本達夫	△ 菊池秀信	松田智子 ○ 保坂正仁
清水啓史		△ 竹内明浩		竹内明浩
			斉藤裕子	
小坂英二				
	藤澤志光			
		瀬野喜代		

5月26日、荒川区議会開会会議が行われ、2016年度荒川区議会定例会の会期を337日間とすることを決定。通年で開くことで区民のみなさんの声や願いがこれまで以上に荒川区政に届いているか、実際の活動が問われています。

また、30日の会議で、各常任委員会（任期1年）と特別委員会の委員選任と各委員長などの役職選出も行われました。

横山幸次は、引き続き、福祉・区民委員会と観光文化推進特別委員会の委員長、議会運営委員

震災災害	健康危機	観光文化	援助団体
△ 小島和男	△ 安部キヨ子	△ 斉藤邦子 ◎ 横山幸次	○ 小林行男
△ 町田 高 ◎ 斉藤泰紀 鳥飼秀夫	○ 中島義夫 服部敏夫 △ 並木一元	△ 茂木 弘 若林清子 ○ 志村博司	◎ 菅谷元昭 明戸真弓美 △ 小坂眞三 △ 北城貞治
○ 森本達夫 △ 松田智子	◎ 菊池秀信 △ 保坂正仁	△ 中村尚郎	△ 田詠子
竹内明浩		清水啓史	
	斉藤裕子		小坂英二
	藤澤志光		瀬野喜代

◎ 委員長
○ 副委員長
△ 理事

また、特別委員会では、これまで公共施設老朽化調査特別委員会が終了し、新たに財政援助団体調査特別委員会が新設されました。この委員会は、区が補助金などを出している団体で対象は約100団体

員会となり議会活動を行います。特に福祉・区民生活委員会では、今年度第7期高齢者プランの策定（介護サービス内容や介護保険料などを決める）、第4期障がい者プラン策定、来年度からの国民健康保険の広域化など保険料や介護、医療サービスに大きな影響を与える課題が山積んでいます。

あるようです。

住民のみなさんの声・要望、区民のくらしの実態をしっかりとつかみながら、調査研究を行って新たな気持ちで、議会に臨みたいと思います。

議長はたらいまわし？

今年度も議長が明確な理由無く「辞職」。結果、議長選挙を実施し議長鳥飼秀夫区議（自）が多数で選出。監査委員には北城貞治区議（自）が選出されました。本来、議長も監査委員も、地方自治法では議員と同様の4年任期ですが、依然として、1年交代のたらいまわしが続いています。その在り方が問われています。

(自民党)議長	就任	辞任
若林 清子	2008.5	2009.5
茂木 弘	2009.5	2010.5
守屋 誠	2010.5	2011.5
服部 敏夫	2011.5	2012.5
小坂 眞三	2012.5	2013.5
志村 博司	2013.5	2014.5
北城 貞治	2014.5	2015.5
斎藤 泰紀	2015.5	2016.5
並木 一元	2016.5	2017.5
鳥飼 秀夫	2017.5	?

裏面 介護予防「新総合事業」のいま…など

定例法律相談会

6月5日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所
7月は5日(水)
に変更します…。

生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



よく見ると葉の形がカ



さそうです。アジサイが咲き始め、梅雨入りも近いから…それにしてもアジサイは多種多彩で目を楽しませてくれます

区内の各地でアジサイの花が咲き始めています。通常よく目にするガクアジサイや花が球状のアジサイなどとともに、花が円錐状のアジサイらしき花を見かけました。調べてみるとカシワバアジサイといいその中でも花が八重状に咲くので八重カシワバアジサイ（写真下）というそうです。

シワによく似ています。温暖化など気象変動が言われていますが、自然の移り変わりを草花によって感じることは変わっていないようです。梅雨の時期は、うつつとしくも感じますが、日本の農業にとつては、やはりこの自然サイクルが必須であることに変わりはありません。

(横山幸次)

「介護予防日常生活支援事業」実施から2年を経過

引き続き対象者数は増加、サービス利用は横ばい…？
必要なサービスが適正に提供されているのか検証が必要

2年前から始まった介護予防・日常生活支援総合事業（以下「新総合事業」）は、要支援1、2の方の訪問介護、通所介護を全国一律の介護保険から切り離し、各自治体が行う「新総合事業」に移行したものです。「新総合事業」で要支援のみなさんの訪問介護や通所介護の利用状況がどうなっているのでしょうか。

この間、「新総合事業」の対象者とサービス利用などの推移を継続して追ってきました。2年目を経過した中、改めて状況を調べてみました。要支援1、2およびそれに

類する方は、毎年増加しています。一方サービス利用は横ばいであることがわかりました。この要因について、区側から具体的な説明はありません。訪問介護が減っています。利用者、生活実態などを踏まえた分析と検証が必要です。

区は、制度移行にあたり、従来のサービスから変わらなさと繰り返し表明してきました。重要なことは、高齢者のみなさんに、身体状況や家庭状況など実態をきちんとふまえて、必要な介護サービスが提供されているのかどうかとい

介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況推移

1、対象者数

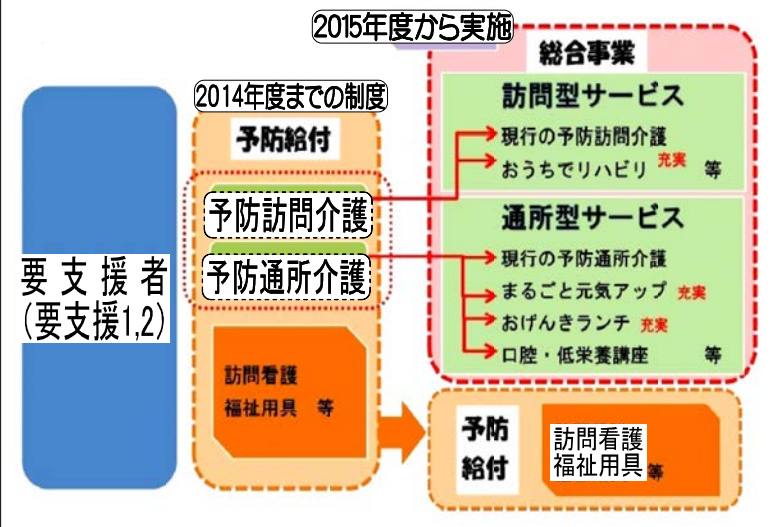
区分	2015年3月	2016年3月	2017年3月
要支援1	1,090	1,226	1,352
要支援2	1,168	1,130	1,221
サービス事業対象者	-	165	211
合計	2,258	2,521	2,784

2、サービス利用状況

区分	2015年3月	2016年3月	2017年3月
介護予防訪問介護	562	513	451
介護予防通所介護	749	764	858
おうちでリハビリ	4	7	5
まるごと元気アップ	35	38	35
お元気ランチ	110	107	94
合計	1,460	1,429	1,443

※2016年12月から「おうちで栄養診断」事業を開始

荒川区の「介護予防・日常生活支援総合事業」



うことです。第7期高齢者プラン策定に向けてみなさんのご意見をお寄せください。



（日本共産党相馬けんいち区議は、都議選立候補のため5月25日付で区議会議員の辞職願を提出し、議長から許可されました。以下辞職にあたっての相馬けんいちさんの挨拶を掲載します。）

都議会議員選挙は、6月23日告示、7月2日投票で行われます。告示日まで区議会議員を続け立候補と同時に区議会議員を自然失職という道もあります。しかし、5月26日から2017年度区議会の開会会

辞職願
 今般、東京都議会議員選挙に立候補のため、荒川区議会議員を辞職したいので、地方自治法126条但し書の規定により許可されるようお願いいたします。
 2017年5月25日
 荒川区議会議員 相馬 堅一 謹言
 荒川区議会議長 並木 一元 殿

の後に欠員になるより、委員会配置決定前に辞職することが適切と考えて、開会日前日25日に辞職願を提出し、即日、議長の許可を得ることにしました。区議会議員活動にご期待頂いてきた多くのみなさんに本当に申し訳ないと思っておりますが、どのような立場になっても最後まで我が町南千住と荒川区の役に立つように、また、みなさんのくらしとまちづくりの発展に役立つように力を尽くします。合わせて「住民が主役」で情報を提供する活動も続けていきたいと思っております。

区政ニュースの発行は、多くのみなさんのご協力・ご支援で制作、配布しています。これからも続けていきたいと思っております。ぜひ、これまで通り、これまで以上のご支援をお願いします。相馬けんいち

今週のデータ

G7諸国で若者の死因第1位が自殺は日本だけ…なぜなのか？

やはり、若い世代を取り巻く社会、経済的環境などの改善が急がれるのではないのでしょうか。

政府は、30日、2017年度版の自殺対策白書を閣議決定し公表。自殺者全体は、減少傾向にありませんが、死亡原因の15歳から39歳が依然として最も多くなっています。白書では「社会をけん引する若い世代の自殺は深刻な状況にある」と指摘しています。一方、国際比較では、人口10万人当たりの自殺者数である「自殺死亡率」で、日本は世界で6番目に高いとされています。また年代別の国際比較では、フランスやドイツなどで20代から30代の自殺者数が目に見えて減っているのに対し、日本は減少幅が小さいと指摘し、若い世代の自殺に歯止めをかけることが課題だとしています。

